

(様式)

令和6年度 男子サッカー部の指導方針等について

令和6年5月1日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	中馬 陽介			
副顧問	中塚 脩人			
副顧問	有光 英二			

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「愛されるチームに。愛される人に。」をモットーに、日々の練習や試合を通し、サッカーだけでなく、人として成長するとともに、普段の生活から自ら学び考え、行動する力を養う。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
各大会地区予選で3回戦以上の進出を目指し、日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
近隣の中学校との交流を図るため、交流大会を実施し、生徒主体で運営をする。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は原則、平日4日、土日祝日は不定休とし、練習時間は、平日2時間、休日3時間を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画
月に4～5回程度、競技力を高めるため、他校との練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
普段の学校生活から挨拶を重んじ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
生徒とのコミュニケーションを大切にし、生徒理解に努める。また、顧問、副顧問等、教員間で連携をとって、日々の指導のあり方を振り返る時間を設ける。これらのことにより、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。
- (2) 生徒間の暴力禁止
普段から、調和のある雰囲気づくりに努め、部員同士で暴力により問題解決を図ることのないよう指導を徹底する。
- (3) 事故防止・安全配慮
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介 第8地区ユースリーグ（年間を通して実施） インターハイ東京都支部予選
	5	部活動保護者会（指導方針等を説明） インターハイ東京都1次トーナメント
	6	インターハイ東京都2次トーナメント
	7	夏季合宿健康診断 夏季合宿（長野県女神湖 グラウンド 3泊4日）
	8	中学生部活動体験入部 高校サッカー選手権大会東京都1次予選
2 学期	10	高校サッカー選手権大会東京都2次予選
	11	地区新人選手権 中学生部活動体験入部
	12	冬季休業中 練習及び練習試合 基礎体力強化練習
3 学期	2	地区選抜研修大会
	3	春季休業中 練習及び練習試合